

國學院大學學術情報リポジトリ

社寺等絵葉書資料に関する一考察：
宝登山神社関連資料から

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2023-02-08 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 黒田, 迪子 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.57529/00001929

社寺等絵葉書資料に関する一考察

— 宝登山神社関連資料から —

黒田迪子

はじめに

本稿では、まず、國學院大學学術資料センター（考古部門）所管社寺等絵葉書資料の概要と、データベースの作成状況を報告する。その上で、國學院大學学術資料センター（考古部門）で所蔵する埼玉県長瀬町にある宝登山神社の絵葉書と、宝登山神社の所蔵資料である絵葉書資料の比較検討を試みたい。

社寺等絵葉書資料概要

社寺等絵葉書資料は、本学神道資料館所蔵絵葉書と宮地直一博士の収集した絵葉書を併せたものである。神道資料館所蔵絵葉書は“ss-e”、宮地直一博士収集絵葉書は“mn-e”という資料番号から始まる資料群である。

神道資料館所蔵絵葉書は、かつて神道資料館が北海道の古書店から購入したもので総数は1497葉である。これらは、「神社」あるいは「神道」というキーワードに基づいて収集したものと考えられる⁽¹⁾。

宮地直一博士神社関係絵葉書資料は平成20年から平成27年にかけて整理作業が行われ、ほぼ全ての資料の目録の作成とデジタル化が終了している⁽²⁾。平成26年には東北4県（青森県、岩手県、宮城県、福島県）の絵葉書を掲載した目録が刊行された⁽³⁾。

宮地直一博士は神道史学者で、内務省神社局の官僚を経たのち、國學院大學教授や東京帝国大学神道研究室の教授を歴任した人物である。國學院大學では、平成14年（2001）に調査を行なった上で、平成15年（2002）に宮地家から一括して遺品資料を寄贈していただいた⁽⁴⁾。絵葉書資料はその資料のひとつで、宮地家でそれ専用の筆筒が作られ、引出し12箱に絵葉書14,570点余が保管されていた。國學院大學学術資料センター（考古部門）に移管されたのちも引き続きその筆筒を使って保存されている。現在は「大学ミュージアムにおける「学芸基盤」情報の整備」プロジェクトで整理作業が継続して行われ、平成28年度は黒田迪子、川嶋麗華、松田采葉が作業にあたった。また、デジタルミュージアムへのアップロードは伊藤大祐が担当した。

当初は「神社絵葉書」という名称を用いていた資料群だが、神社のみならず社寺の絵葉書資料も多くあることを鑑みて、神社のみならず仏寺からもその許諾を取ることとしたため、「神社絵葉書」から「社寺等絵葉書」にその名称を変更した。



画像1 社寺等絵葉書資料データベース（國學院大學デジタルミュージアム）

社寺等絵葉書資料データベース運用状況

現在、社寺等絵葉書資料データベースは國學院大學デジタルミュージアム (http://k-amc.kokugakuin.ac.jp/DM/dbTop.do?class_name=col_mss) において公開されている（画像1）。

内容は文字データと絵葉書資料の画像データである。ここでは社寺の許諾を得られたもののみ公開している。

社寺等絵葉書資料DBは、都道府県名による階層検索のほか、旧ID、題目、人名、裏面：印字色、裏面：切手絵、裏面：言語、記録形式、Title、テキスト内容、描画方法、発行元・印刷元、関連神社といった項目での詳細検索も可能となっている。

こちらも、資料名の変更に伴ってDB名称を「神社絵葉書資料（東北地方）」から「社寺等絵葉書資料」へと変更する予定である。

公開にあたって

絵葉書の公開にあたって、國學院大學学術資料センター（考古部門）は絵葉書の主題となった社寺に、公開の許諾を依頼している。それは、神宝や寺宝といった現在公開していないものが掲載されている可能性を考慮してのことである。たとえば、神道資料館所蔵絵葉書の場合、神社、社務所、奉讃会、宝物

館等の神社関係各所を発行所とする絵葉書はそのうちの半数ほどを占める580葉⁽⁵⁾であるが、それらには前述したような公開を憚る被写体が写されている可能性があると思定して作業している。

平成27年度の場合、北海道と北関東4件（栃木県、茨城県、埼玉県、群馬県）の86件の社寺に許諾願を発送し、うち63件から回答を得た。その結果、掲載を許可して頂いたのは59件、条件付き掲載可は3件、不許可は1件であった。

平成27年度からは、デジタルアドバンテージ社によるiOSとAndroidに対応した地図アプリケーション「ロケスマ」で、「神社絵葉書DB」マップの公開をしている⁽⁶⁾。

平成27年度に、許諾書を返送していただく過程で、宝登山神社宮司 中山 高明 様から宝登山神社で所蔵されている絵葉書の資料情報を提供していただいた。そして、平成28年には宝登山神社においてその資料を写真撮影させていただく機会を得た。次に、本学所蔵絵葉書と宝登山神社所蔵絵葉書から得られる情報整理を行ないたい。

宝登山神社概要

宝登山神社は、埼玉県長瀨町にある神社である（地図）。旧社格は県社、現在は神社庁の別表神社となっている。祭神は神日本磐余彦尊、大山祇神、火産霊神の三柱である。秩父神社、三峯神社と併せて秩父三社と呼ばれている。

宝登山神社は2011年にミシュランガイドの1つ星に認定された。また、そばには景勝地である長瀨の岩畳などもあり、一年を通して風光明媚な観光地として人びとに親しまれている。

宝登山神社絵葉書

学術資料センターでは宝登山神社に関する絵葉書を2葉所蔵している。それが、宮地直一博士収集絵葉書のmn-e11959とmn-e12063である。

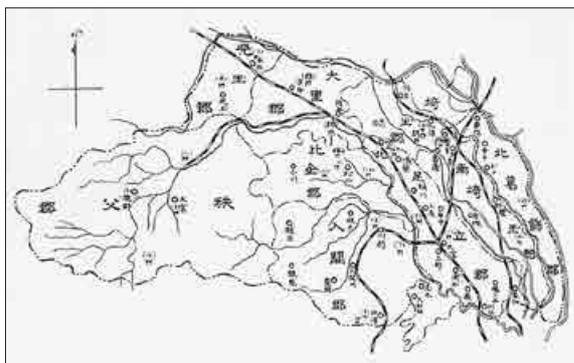


地図 宝登山神社の位置



秩父郡野上村 宝登山神社

画像2 mn-e11959 (裏面)



画像3 1922集 埼玉県内神社数地図



画像4 1922集 埼玉縣神社繪葉書目次

mn-e11959 繪葉書 mn-e11959は繪葉書集第1922集⁽⁷⁾『埼玉縣神社繪葉書』に収められている(画像2)。繪葉書集第1922集は全21葉の繪葉書が1冊になっているいわゆる糸綴じ繪葉書である。掲載されているのは9郡23社の繪葉書である。

1922集には埼玉県内の各地方に鎮座する神社数を記した地図と、この繪葉書集にどの地域の何という神社を掲載したか記載した書面が添付されている(画像3、画像4)。

繪葉書 mn-e 11959 の題目は「秩父郡野上村 県社宝登山神社」である。秩父郡野上村は、明治22年(1889)年から昭和15年(1940)まで野上町となるまで存在した行政区画で、昭和46年(1971)に長瀨町となった⁽⁸⁾。また、神社の名称は大正14年(1925)の「神社名変更申請書」によって「宝登山神社」から「宝登山神社」へ変更したことが確認できる⁽⁹⁾。繪葉書の構図は宝登山神社本殿を斜め右方向から写したものである。いわゆる権現造りの社殿は平成22年(2010)にご鎮座1900年記念事業の一貫として着色工事

が行われ、今日では江戸時代の美しい景観を取り戻している⁽¹⁰⁾。

この絵葉書は裏面の3分の1に線が引かれ、私信を書くスペースがあることから、明治40年(1907)～大正7年(1918)頃の発行と考えられる⁽¹¹⁾。行政区画の名称、神社の名称の変化と照らし合わせてもこの時期に作られた絵葉書と考えてほぼ間違いない。

mn-e12063 絵葉書 mn-e12063 (画像5) は、『秩父観光協会』から出された全3葉の絵葉書集の1つである。宝登山神社の社殿と、長瀬の岩畳、秩父地方の名産品であった秩父銘仙を水洗するようすが描かれている。

mn-e12063 では宝登山神社と記載されていること、宛名欄と通信欄の比率が1:1になっていることから、mn-e11959 が先行した絵葉書で、mn-e12063 が後行した絵葉書であることがわかる。共通して掲載されている社殿は写した角度こそ右からと左からとで違うものの、神殿やその前に置かれた燈籠などはmn-e11959と比べてさほど変化していないようである。



画像5 mn-e12063 (裏面)

宝登山神社所蔵の絵葉書

本学で所蔵している絵葉書は2葉のみだが、宝登山神社では神社に関する絵葉書や長瀬に関する絵葉書を複数お持ちである。次にその題目の一覧と一部の画像を挙げる。

画像6は宝登山神社拝殿を左から写したものである。画像7は宝登山神社本殿を写したものである。画像8は記念齋館を写したものである。記念齋館の前には「秩父宮殿下御手植」、「淳宮殿下両殿下御手植」と書かれた木札がみえる。殿下が訪秩され植樹されたのは大正11年(1921)のことである⁽¹²⁾。画像9は画像8と同じ記念齋館を画像8より少し右側から写したもので、同様の木札がみえる。画像10は社

務所と旧別当の玉泉寺を写したものである。

これら宝登山神社所蔵の絵葉書は宝登山神社という名称が用いられていること、表面の宛名欄と通信欄の比率が1:1になっていることから、mn-e12063 と同時期の 大正14年(1925)以降のものと考えられる。本殿以外の建造物は現在と大きく異なる景観が確認できる。

表 宝登山神社所蔵絵葉書(宝登山神社社務所発行『宝登山神社略記』) 題目一覧

番号	題目	番号	題目
1	秩父鉄道沿線 / 寶登山神社	13	秩父鉄道沿線 / 長とろの勝景
2	(秩父線) / 寶登山神社御社殿 / (寶登山)	14	秩父鉄道沿線 / 長とろの勝景
3	(寶登山神社) / 秩父宮殿下御啓記念館 / (境内名所)	15	秩父鉄道沿線 / (長瀨の景光)
4	(秩父線長瀨) / 秩父宮殿下行啓記念館 / (寶登山神社境内)	16	秩父鉄道沿線 / (長瀨の景光)
5	(秩父線) / 寶登山公園の一部 / (長とろ)	17	秩父鉄道沿線 / (長瀨の景光)
6	秩父鐵道沿線 / (長とろの勝景)	18	秩父鐵道沿線 / (長瀨の景光)
7	秩父鐵道沿線 / (長とろの勝景)	19	秩父鐵道沿線 / 長とろの勝景
8	秩父鐵道沿線 / (長とろの勝景)	20	秩父鐵道沿線 / 長とろの勝景
9	秩父鐵道沿線 / (長とろの勝景)	21	秩父鐵道沿線 / 長とろの勝景
10	秩父鐵道沿線 / 長とろの勝景	22	(秩父鐵道會社指定) / 料理旅館長生館本館入口 / (電話野上三番十八番)
11	秩父鐵道沿線 / (長瀨の景光)	23	(秩父鐵道會社指定) / 料理旅館長生館全景 (長瀨驛下車二丁) / (電話野上三番十八番)
12	秩父鐵道沿線 / 長とろの勝景	24	秩父鐵道沿線 / 長とろの勝景



画像6 表番号1 秩父鐵道沿線 / 寶登山神社



画像7 表番号2 (秩父線) / 寶登山神社御社殿 / (寶登山)



画像8 表番号3 (寶登山神社) / 秩父宮殿下御啓記念館 / (境内名所)



内境社神山登寶 館念記啓行下殿宮父秩 (瀨長線父秩)

画像9 表番号4 (秩父線長瀨) / 秩父宮殿下行啓記念館 / 寶登山神社境内



(ろと長) 部一の園公山登寶 (秩父線)

画像10 表番号5 (秩父線) / 寶登山公園の一部 / (長とろ)

むすびに

神社名と自治体の名称、そして絵葉書の形態の変化から、それぞれの絵葉書がどの時代のものか推定することができた。そして、このことから宮地直一博士収集絵葉書はひとつの神社につき複数の時代の絵葉書を収集していることがわかった。本学には2点しか所蔵のなかった宝登山神社の絵葉書だが、宝登山神社所蔵の絵葉書資料と併せて検討したことによって、より多くの情報を得ることができた。今回はまだ具体的な比較こそできなかったが、現在は存在していないものを考察する、あるいは現在も存在しているものがどのように変化したかを考察するための資料となるであろう。

今回扱った絵葉書にはいずれも写真が掲載されていたが、近年こうした古写真の価値が、思い出以上の意味を持ち、時代や地域性を記録した資料としての価値が見出せるようになってきている⁽¹³⁾。

宝登山神社に関する書誌類も複数刊行されているが、特に大正から昭和にかけては、いつどんな建造物があったのか、いつ改修したのか、などについての変化に明確に言及したものは少ない。なだらかな変化を何気なく写した絵葉書は、有効な資料として活用できる可能性があるのではないだろうか。

謝辞

宝登山神社宮司 中山 高明 様にはご多忙中にもかかわらず、貴重なお話を聞かせていただき、また貴重な資料を撮影させていただきましてありがとうございます。末筆ながらお礼申し上げます。

注

- (1) 村瀬友洋ほか「神社関係絵葉書の電子情報化とその活用」『人文科学と画像資料研究』4、國學院大學学術フロンティア事業実行委員会、2007
- (2) 黒川寧子「『宮地直一神社関係絵葉書資料』の概要」『人文科学と画像資料研究』7、國學院大學学術フロンティア事業実行委員会、2014
- (3) 『学術資料センター絵葉書資料目録<青森・岩手・宮城・福島>—宮地直一旧蔵資料・神道資料館所蔵資料』國學院大學研究開発推進機構学術資料センター、2014。黒崎浩行「災害と神社関係絵葉書—仙台平野から相馬地方まで」と、宇野淳子「宮地直一旧蔵絵葉書と盛岡・石割桜」の2本の研究ノートも掲載されている。
- (4) 田中秀典「宮地直一博士資料について」『劣化画像の再生活用と資料化に関する基礎的研究』國學院大學日本文化研究所、2004
- (5) 村瀬友洋ほか「神社関係絵葉書の電子情報化とその活用」『人文科学と画像資料研究』4、國學院大學学術フロンティア事業実行委員会、2007
- (6) ロケスマ (google play) https://play.google.com/store/apps/details?id=jp.d_advantage.locasma
- (7) 國學院大學学術資料センター（考古部門）での宮地直一神社絵葉書資料の絵葉書集通し番号。
- (8) 『長瀬町史』長瀬町、1991
- (9) 『宝登山—宝登山神社誌稿—』宝登山神社社務所、1979、p.102-103
- (10) 『宝登山神社—御鎮座1900年記念事業—』宝登山神社々務所、2010
- (11) 学習院大学資料館編『絵葉書で読み解く大正時代』彩流社、2012、p.18

- (12) 『宝登山 一宝登山神社誌稿一』 宝登山神社社務所、1979、p.108-110
- (13) 村上忠喜 「文化財行政における古写真資料化の今後」 植木行宣 監修 『民俗文化財 一保護行政の現場から一』 岩田書院、2007

参考文献

- 『宝登山 一宝登山神社誌稿一』 宝登山神社々所、1979
- 植木行宣 監修 『民俗文化財 一保護行政の現場から一』 岩田書院、2007
- 『宝登山神社 一御鎮座壱千九百年記念事業一』 宝登山神社々所、2010
- さきたま文庫・4 『宝登山神社 (長瀬)』 さきたま出版会、2013

國學院大學研究開発推進機構PD研究員